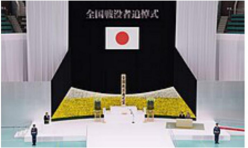


やましん歌壇掲載歌＜第37回＞

短歌		平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
	掲載短歌	～ 上記期間の作品の紹介は 第36回で終了しました ～	R5年10月：走りものの無花果求めジャムづくり 秋を呼び込む男の厨（*）：佐藤幹夫選 R5年10月：敗戦を三四半世紀終戦と 言い風化する八月十五日（*）：布宮雅昭選
共同制作の写真短歌（*）& 写真短歌（*）	* * * 他人の写真に自身の短歌 * * * 写真も短歌も自身の作品	～ 上記期間の作品の紹介は 第36回で終了しました ～	写真短歌  写真撮影地：山形市（自宅） 短歌：令和5年10月22日付け「やましん歌壇」掲載歌（佐藤幹夫選） 写真短歌 敗戦を三四半世紀終戦と言い換え風化する八月十五日 終戦の日 （出典：フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』）  日本政府は、8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」（せんぼつしやをたうしへいをきねんするひ）として、全国戦没者追悼式を主催する。市井では終戦記念日（しゅうせんきねんじつ）や終戦の日（しゅうせんの日）と称され、政治団体・非営利団体（NPO）らが平和集会を開催。 画像情報源：山形市（自宅） by ウィキペディア 短歌：黒沼貞志 令和5年10月22日付け「やましん歌壇」掲載歌（布宮雅昭選）
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて120首（令和8年5月まで）
	写真短歌	38作品 （自身の作品：37＋共同制作：1）	85作品（自身の作品：54＋共同制作：31）